

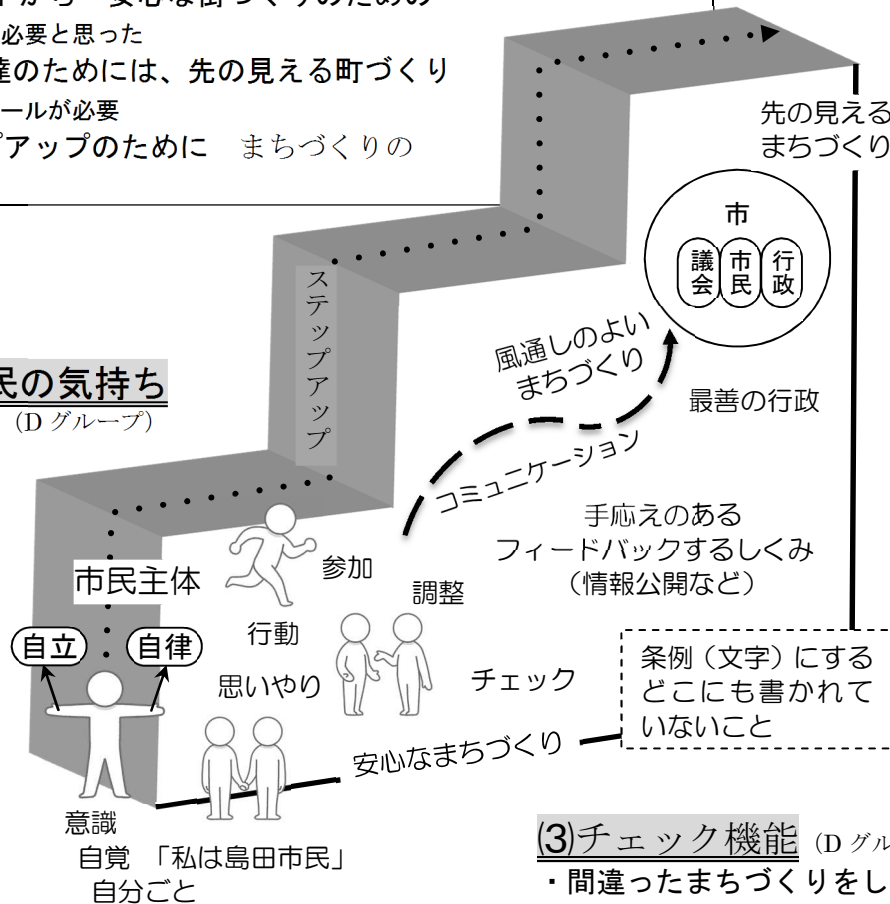
条例の必要性について グループ意見まとめ 4つのグループで話し合いました。

Aグループ	・ 明るく風通しのよいまちづくりのためには必要であると思う
Bグループ	・ 市民を主体とするためのしくみ
Cグループ	・ 条例は必要
Dグループ	・ 島田のまちづくりという気持ちを強めるためにほしい ・ 市民アンケートから～安心な街づくりのためのルールづくりが必要と思った ・ 将来の市の発達のためには、先の見える町づくりを考えるにはルールが必要 ・ 島田のステップアップのために まちづくりのための条例

### (1)モチベーション、市民の気持ち

(Dグループ)

- ・ 島田市民という意識が出るようにしたい「私は島田市民！」(Dグループ)
- ・ 自分ごととして考えることを思い出す(Dグループ)
- ・ 自主性 人まかせにしない自分から進んで(Dグループ)
- ・ 思いやりの心を持つこと(Aグループ)
- ・ 市政に関心を持つこと(Aグループ)
- ・ 市民が行動する(Bグループ)
- ・ 市民の行動を後押しする(Bグループ)



### (2)市民の中で統一のルールでの

まちづくり (Dグループ)

- ・ 市民が参加しやすくする(Aグループ)
- ・ いろいろな違った意見を調整する必要があるため(Dグループ)
- ・ 練られた形の意見 → 市の計画の根拠(Bグループ)
- ・ 意見を練ることがしやすい(Bグループ)
- ・ 市(行政)と市民のコミュニケーション(Bグループ)
- ・ 吸い上げやすいしくみ(Bグループ)
- ・ 練られた意見を通じたものを取り入れるしくみ(Bグループ)
- ・ 近づく、コミュニケーション(Bグループ)
- ・ 体制づくりをサポート(Bグループ)
- ・ 一緒(市民と行政)にやる!!(Dグループ)
- ・ 市民のため、できるだけ最善の行政ができるようにするためにはルールを決めておく必要がある(Dグループ)
- ・ 協働のまちづくりのためのルール(市民-行政-議会)(Dグループ)
- ・ 行政と市民(議会)が協働しあうまちづくり(Aグループ)
- ・ 議会との関係は → 補完(Bグループ)

### (3)チェック機能

(Dグループ)

- ・ 間違ったまちづくりをしていないかのチェック(Dグループ)

市民の範囲はどこまでか？本当に島田市の将来を考えてくれる人だけがいい(Cグループ)  
市の最終判断は急がなくてもいいと思う(Cグループ)